



予防救急とは？

救急車が必要になるような『病気やケガ』等をほんの少しの『注意や心掛け』で防ぐ取組みを『予防救急』といいます。

1年間で救急搬送される人のうち、半数以上が『高齢者』となっています。『高齢者』は筋力・視力・聴力などの低下に伴い、転びやすくなったり、つまずきやすくなります。生活の中で起こる事故にはどんなものがあるか確認し、予防しましょう。

『乳幼児』の事故は、大きなケガなどに繋がる可能性があります。事故が起きないように、周りにいる大人が事故の予防を心がけることが大切です。

事故の原因を知って対策しよう！

高齢者編

①転倒

階段、玄関、廊下など

▼段差につまずかないように気をつけましょう。

▼転倒を防ぐために整理整頓を心がけましょう。

▼階段、廊下、玄関、浴室など滑り止め対策をしましょう。

②窒息

食物、菓等の包装など

▼ゆっくりよく噛むことで窒息予防。

▼お茶などの水分を取りながら食事をしましょう。

▼急に話しかけて、慌てさせないように気をつけましょう。

③転落

階段、ベッド、脚立など

▼階段などには手すりを配置しましょう。

▼ベッドにも転落防止の柵をつけましょう。

▼脚立などを使用し

て作業する時は、補助者に支えてもらいましょう。



乳幼児編

①たべる

たばこ、電池など

▼飲み込みそうなものは手の届くところに置かないよう注意しましょう。

②ひっかける

ブラインドの紐、

水筒のストラップなど

▼手の届かないところに置き、紐付きのものは外して遊ばせるようにしましょう。

③ぶつか

机の角、テーブルの角など

▼角の部分はやわらかいもので保護しておくなど、ぶつけてもいいように工夫しましょう。



問合せ先

丹羽広域事務組合 消防本部

☎95-5151

大口俳句会

平和なれ屍こえし終戦日

前田とし子

無観客東京五輪セミの声

安藤 克典

胡瓜もみ一山売りの使い道

保浦佐代子

木斛の花咲く時を見のがせり

木村千代子

泡一つ浮かぶを見つむ溽暑かな

安藤 亮子

朝顔の伸び切り揺らく竿の先

渡辺すみ子

夢路へと誘ふ音色や軒風鈴

土川喜一郎

芙蓉句会

燕来る路地をすり抜け急上昇

水野 邦子

控えめにオーデコロンや八十歳

田中百代

梅雨空を見つつ散歩の歩を伸ばす

桑原 聡子

濃あぢさゝる眼の観音の鐘を撞く

大野 正子

四五本の蒲の穂活け籠もりたる

土川 照恵

大口川柳クラブ

天に問い草に語って猛暑生き

吉田 雄亮

幸せにゆっくり下る老いの日日

高橋あや子

御先祖の血は争えぬ孫の趣味

安藤 久子

姑に負けた振りする嫁の知恵

日比野文子

本場でも喝采浴びる二刀流

天野 信和